



地域医療センター
地域医療連携通信

6

JUNE.2008
Vol.32

● 外来診療時間 ●



平成20年度初期臨床研修医の皆さん

目次：CONTENTS

- 2 特集1：高知医療センターの
3 クリニカルインディケーター(C.I.)

- 4 特集2：平成20年度 高知医療センター
5 初期臨床研修医のご紹介

- 6 第14回高知医療センター職員による学会出張報告

- 7 地域医療連携病院のご紹介

- 8 高知医療センター イベント情報

高知医療センターの基本理念
医療の主人公は患者さん

高知医療センターの基本目標

1. 医療の質の向上
2. 患者さんサービスの向上
3. 病院経営の効率化

平成20年6月1日発行
にじ 6月号(第32号)
責任者：堀見 忠司
編集人：地域医療連携広報委員
特別編集委員
発行元：高知医療センター
地域医療連携本部
印刷：共和印刷株式会社

高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL:088(837)3000(代)

高知医療センターの クリニカルインディケーター (C.I.)

高知医療センターでは、当院の医療を質という側面から表現するのに相応しい指標を取り上げ、これをクリニカルインディケーター (C.I.)として皆さまに定期的にお知らせすることといたしました。今回は全69項目を予定していますが、今月号はその第1回のご報告です。

文責：医療の質評価委員会 委員長 深田順一

I クリニカルインディケーター (C.I.) 公表の背景

開院後3年が経過した高知医療センターですが、特に最近は大連日のように地元紙紙上で、急性期型病院としての機能を支える救命救急センターを中心とする現場医師の奮闘振りが、ややもすればセンセーショナルとも受け取られる書きっぷりで報じられております。その中で、私がやはり、という印象を受けましたのは、本年3月12日付け高知新聞夕刊の《医師が危ない(16)》の記事で、「…連載を読むと先生を含め医療スタッフ全員の体が心配でなりません。(中略) 過酷な環境で医療事故が起きないことを願うばかりです」という声が一読者の投書として取り上げられているのを目にした時でした。マスコミでのこのような取り上げられ方は、やはり危惧していたような懸念を生むのだな、という感じで、やはりC.I.をまとめるという作業を急いでおいて良かった、という思いを強くさせるものでした。

そもそも、当院で医療の質を評価し、公表しようという取り組みを始めたのは、開院間もない2006年(平成18年)の初頭でした。当初は医療安全の向上という視点が中心で、当院で是非、取り組むべき課題として機関決定され、平成18年度から委員会が設置されましたが、テーマがテーマだけにどこから手を着けていいか、と方向性が見えない時期もありました。しかしこの年、聖路加国際病院が公表した冊子「St.Luke's Quality and Healthcare Report 2006」の実物を見せていただく機会があり、委員一同その内容に多いに触発され、今回のまとめに向けぐっとムードが高まったことでした。

その後、実務部隊による情報収集・データ集計と各臨床チームとの調整、委員会・幹部会議での妥当性の検討などを経て、今回の公表まで何とかたどりついたわけですが、この過程で役立ったのは何と云っても、電子カルテシステムに日々蓄えてきた膨大なデータが後利用できたことです。電子カルテは入力にかかる負担の大きさのために敬遠され勝ちと言われますが、やはりその威力はデータの後利用における有利さだと、今回の作業を通じ改めて実感させられたことでした。

II 指標の選択と算出に 当たって考慮したこと

高知医療センターの目指す3つの

基本目標の第1は「医療の質の向上」ですが、では当院は「医療の質」をどのように捉えるべきでしょうか？

この点について、当院では「医療の質」をまず、『期待される医療内容がその通りもたらされるという信頼感』と捉えています。これは医療の高度さや難度とは似て非なる価値観で、上記のように開院当初から院内で当院の考える「医療の質」として位置付けられていたものですが、これについては一昨年秋の第1回医療の質・安全学会学術集会での高久史磨理事長の挨拶の中にあつた、「…医療は極めて高い不確実性の上になりたっているもので…、また医療に直接携わっているのもまた人間であることから、医療の現場では予想もしない事故が起きる可能性が常にある…」という件りとも軌を一にする基本認識と考えています。

それでは、この信頼感を表現するには、具体的にはどのような指標を揃えるべきでしょうか？

実は医療サービスの質を評価しようという試みは、欧米では既に100年の歴史があると言われております。この中で何を質として評価するかについては1960年代にA.Donabedianによって提案された、構造(Structure)、過程(Process)、結果(Outcome)の3つの視点というのが現在でもコンセンサスを得ているとされています(図1)。そしてこのうち“構造”の部分がかほぼ満たされている先進国では“過程”と“結果”を中心に、その取り上げ方が工夫されているというのが現状のようです。

では、目指すべきはアウトカムかプロセスかという点については、一義的にはこれも同学会のワークショップでの副島秀久済生会熊本病院TQMセンター長が表明された、『医療の質の核心は治療成績であるべきである』という考え方に我々も共鳴するものです。

図1：臨床評価指標(クリニカルインディケーター)とは？
医療活動を「結果」から評価し、質の改善に役立てるための数値目標

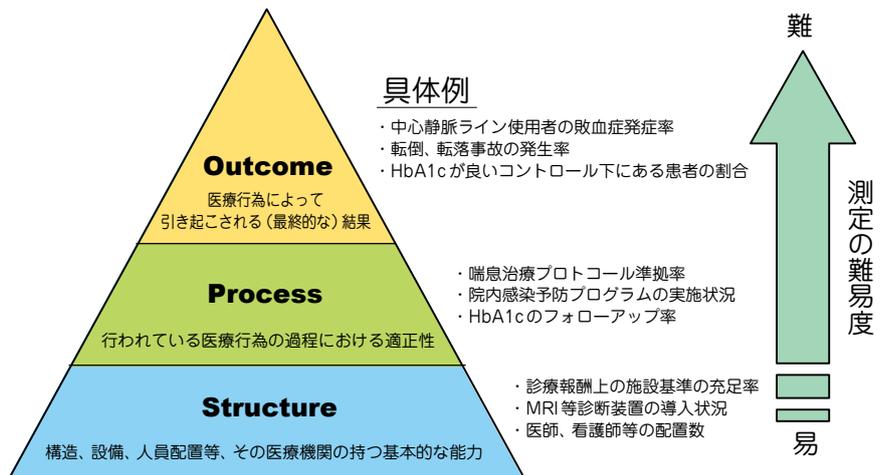


図1：「全日病ニュース」(平成14年7月15日)の「医療の質を測定するアウトカムアプローチ」を参考

なぜなら“結果”は“過程”に比べ、特に医療を受ける側、すなわち患者側からみたと、何より指標としてわかりやすいからです。しかし、ケースバイケースで“プロセス”も十分な指標になり得ると考えます。例えば、“高い有効性がエビデンスとして示されている治療法の当院での適用率”などは、プロセスに関する指標ではあるものの、十分に指標としての説得力を持つものと考えられるからです。

その上で①当院の質を相対評価できれば、よりわかりやすい指標となるのは明らかであるため、既に質の指標として認められたもの（ベンチマーク）があれば、これを候補としてまず考慮すること、②実際の算出作業を考え、できるだけ電子カルテから自動的に取り出せる数値を選択すること、などの点も念頭に置きました。しかし今回、最終的には当院独自の指標を考えざるを得ず、また、数値の算出にもある程度のマンパワーを費やさざるを得なかったというのが実情でした。

Ⅲ 第1回高知医療センター・クリニカルインディケーターの1例

このようにして今回公表するに至った高知医療センター・クリニカルインディケーター（KHSC-CI）の一部を紹介します。

代謝内分泌領域では今回、3つのC.I.を取り上げますが、その一つが『糖尿病治療を行った患者の中期的治療効果』です。そもそも糖尿病治療の質をどのように評価するか？ですが、聖路加病院では「3ヶ月以上通院している患者のコントロール状況を、HbA1cが6.5%以下、7.0%以下、9.0%以下を示す患者の割合（%）として表現する」としていますが、この指標では当院のように逆紹介を積極的に推進する施設の機能を表現するのは適切でないと考えます。

そこで当院では代謝・内分泌科を糖尿病で初診した患者さんが、初診後半年～1年の間に、初診時に比べどれだけ血糖コントロールが改善しているか、を表現することにしました。この“初診後半年～1年の間”というのは、患者指導の領域で著名な天理よろず相談所病院の石井均部長などによっても、一定（入院）期間後の糖尿病治療の効果を判定するに適した期間とされていますので、この数値化は当院の指標としてより適切と考えるわけです。図2には2006年1月から12月までに初診した糖尿病患者で、治療後の数値の残るケースをすべて含んだ集計を示しますが、当院の治療によりHbA1cは平均で9.69%から6.46%へ低下するという結果でした。この数値は、他の施設との比較は叶わないものの、それなりの成果と評価できるものと考えています。（図3は集計を60歳未満と60歳以上に分けたものですが、差のないコントロールが得られています。）

例1：個別診療機能指標

算出方法：2006年1月から12月までの間に当院、代謝・内分泌科で治療を開始した糖尿病患者が、初診後半年以上1年未満の期間にどこまでコントロールが改善されたかを、初診時HbA1c値と半年以上経過した後の時点で最も良くコントロールされたHbA1c値との差として算出し、グラフにまとめました。

図2：全体平均

『糖尿病治療を行った患者のヘモグロビンA1c低下度』3.23%（2006年実績）

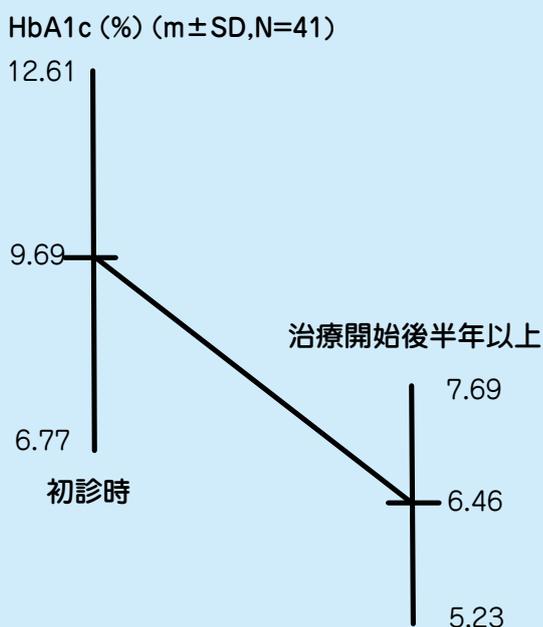
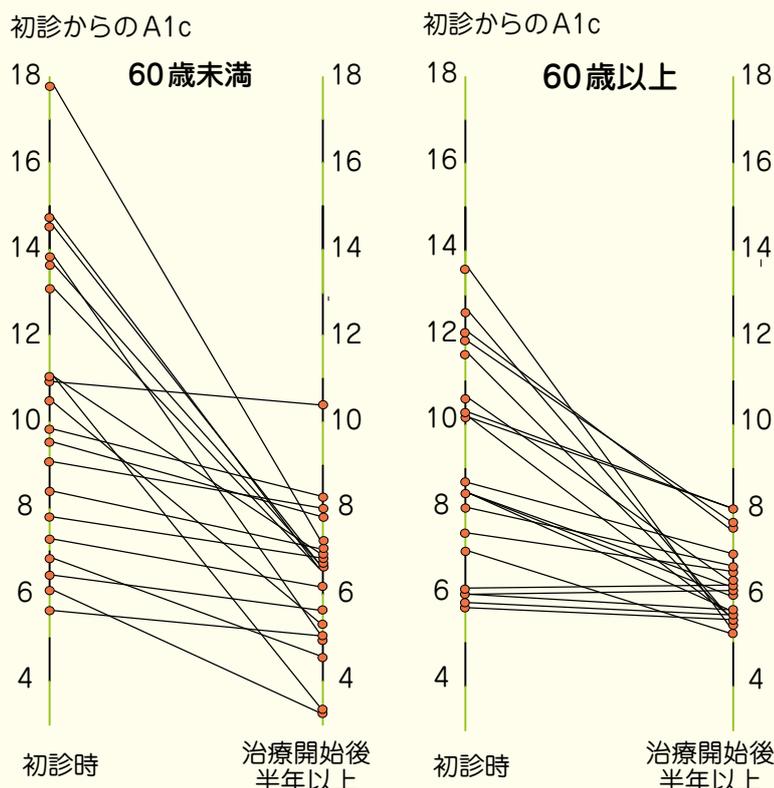


図3：年齢別集計



特集

2



里見 奈保 (さとみ なほ)

- ①医科 ②高知県土佐市 ③自治医科大学
- ④趣味：海外・国内旅行、特技：スキー（大学在学6年間スキー部でした）
- ⑤今年4月から医師になり、高知医療センターで初期臨床研修をさせていただくことになりました。里見奈保と申します。医師となったばかりで右も左も分からず、

多くの方にご迷惑をおかけしている毎日です。私は自治医科大学出身ですので、近い将来、地域に出ています。この初期研修2年間でできるだけのことを吸収して、地域に出たいと思っています。医師としても人間としてもまだまだ未熟ですが、頑張って成長していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いたします。



廣田 遥子 (ひろた ようこ)

- ①医科 ②群馬県太田市 ③高知大学 ④温泉めぐり
- ⑤いつも笑顔を決やらず、患者さんが気軽に声をかけられるような対応を心がけます。患者さんと常に向き合って、患者さんが安心して医療を受けられる手助けをしていきたいです。まだまだ経験も浅く頼りないと思いますが、患者さんに満足していただける医療を提供できるよう、精一杯努力していきますのでよろしくお願いいたします。



藤原 三千 (ふじわら みち)

- ①歯科 ②高知県南国市
- ③昭和大学 ④ベリーダンス
- ⑤出身地でもある高知県で就職でき、大変うれしく思っています。高知医療センターは歯科大学と異なり、様々な職種の方と関わりがもてるので、いろいろ学びたいと思います。これからよろしくお願いいたします。



金丸 明博 (かなまる あきひろ)

- ①医科 ②香川県丸亀市 ③岡山大学
- ④熱帯魚飼育観賞、体を動かすこと
- ⑤まだまだ医師としても社会人としても多くの初心者で、多々不慣れなこと、未熟な面もありますが、少しでも早く皆さまのためになれるよう気合と根性で頑張りますのでよろしくお願いいたします。



辻本 武尊 (つじもと たける)

- ①医科 ②大阪府大阪市
- ③高知大学
- ④釣りなどアウトドア、スポーツ
- ⑤医師になってまだ1ヶ月でもできませんが、これから2年間しっかりとした研修に励みたいと思います。あと高知が大好きです。よろしくお願いいたします。



松岡 賢樹 (まつおか としき)

- ①医科 ②香川県観音寺市
- ③高知大学 ④音楽、スポーツ
- ⑤この春より、ここ高知医療センターにて初期臨床研修をさせていただくこととなりました。松岡賢樹（としき）と申します。新米で何かとご迷惑をおかけするかもしれませんが、たゆまぬ努力で一步一步、一人前の医者になりたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程、どうか皆さまよろしくお願いいたします。

初期臨床研修



①所属 ②出身地 ③出身大学

この度4月より、高知医療センター
研修医の皆さんを

平成21年度高知医療センター 研修医募集中！

平成21年度 高知医療センター初期臨床研修プログラム

研修期間

平成21年4月1日～平成23年3月31日（2年間）

募集方法

- 1) 募集方法：公募（マッチングに参加）
- 2) 応募必要書類：履歴書、健康診断書
- 3) 選考方法：面接
- 4) 募集時期：平成20年4月より募集開始
- 5) 選考時期：平成20年7月25日（金）
平成20年8月9日（土）
平成20年8月18日（月）

プログラム責任者

高知医療センター 医療局長 武田 明雄

主な研修オリエンテーション

- 1) 研修医セミナー（月1回開催）
研修医の希望を中心にセミナーが企画、開催されている。これまでの内容：「インスリンの種類と使用方法」、「どんなときに皮膚科に対診するか」、「CVカテーテル挿入講習会」など。
- 2) 各科症例検討会（毎週）
各科コースに入っている全ての診療科の臨床症例検討会（カンファレンス）、相談会等に出席する。
- 3) 院内CPC（月1回）
全ての研修医は、研修中の科目を問わず、院内で行われる剖検には積極的に参加し、CPCには研修医全員が参加することが原則とされる。
CPCは月1～2回定期的で開催され、通常1～2例が検討される。研修医は指導医のもとCPCの準備と発表を行う。CPCでの発表

医師のご紹介



④趣味・特技 ⑤メッセージ
 ーで初期臨床研修を始められた
 ご紹介します！



田島 千紗子 (たしま ちさこ)

①医科 ②高知県南国市 ③自治医科大学

④スキューバダイビング、バレーボール、テニス、映画鑑賞、温泉旅行

⑤今年4月から高知医療センターで初期研修をさせていただくことになりました。まだまだカルテも使いこなせず、指導医の先生やコメディカルの方々にも迷惑をかけている毎日です。3月に国家試験を終え、実際に臨床に出てこの1ヵ月間で感じた事は、自分は学生時代いったいどこまで患者さんに対して真剣に向き合っていたらどうかということでした。どうしても分らなかったことなどをあやふやなままにしていたこともあり、実際の臨床ではそれではいけないと感じさせられることも多々あります。ただ患者さんの話を聞くだけでなく、今度は実際に自分が処方をしたり、検査を組み立てたり、食事を変更したりと、様々なことを考えていかなければなりません。スーパーローテート研修という貴重な期間を与えていただいたので、できるだけたくさんの個々の患者さんと接し、自分で考え、その人にあった問題の解決能力を身に付けていきたいと思っております。至らない点も多々あるとは思いますが、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



辻 枝里 (つじ えり)

①医科 ②高知県高岡郡 ③東京女子医科大学 ④よさこい

⑤社会人として、また医師としての第一歩を高知県でスタートさせていただいて、とても感謝しております。2年間の研修医生活では、患者さんそしてスタッフの方々から、たくさんのことを学ばせていただき、医師として大きく成長していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



大谷 憲 (おおたに けん)

①歯科 ②愛知県

③愛知学院大学歯学部 ④旅行

⑤先生方の話をよく聞き、将来の医療の一端を支えられる歯科医師を目指し、頑張っていこうと思っております。よろしくお願いいたします。



麻生島 めぐみ (あそしま めぐみ)

①医科 ②大分県宇佐市 ③高知大学

④買い物、映画鑑賞

⑤わからないことばかりですが、少しずつでも日々成長できるよう頑張りたいです。よろしくお願いいたします。



石川 紋子 (いしかわ あやこ)

①医科 ②高知県高岡郡

③岩手医科大学 ④ゴルフなど

⑤2年間の間に多くのことを学んで、

医師としてまた社会人として成長していきたいと思っております。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



東 徹 (ひがし とおる)

①医科 ②大阪府生まれ、

小学校は広島県、中学校は兵庫県

③京都大学

④音楽(大学時代は軽音楽サークルでギターを弾いたり、歌を歌ったりして

いました。) ⑤できる限り早く多くのものを吸収して、少しでも皆さまのお役に立てればと思っています。よろしくお願いいたします。



上田 浩平 (あげた こうへい)

①医科 ②高知県高知市

③自治医科大学

④ファゴット、映画鑑賞

⑤久々に高知に帰ってまいりましたが、

高知の自然、人柄の良さに地元ながら驚いている今日この頃です。まだまだ至らない点があるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

後、研修医はその内容についてレポートを作成する。以上の研修は臨床経過と疾患の本態の関連を総合的に理解する能力を修得することを目的とする。

4) 講習会、研修会等

院内外で行われる講習会、研修会へは積極的参加が推奨される。

研修コース：ローテート方式

1年次						2年次					
第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール	第7クール	第8クール	第9クール	第10クール	第11クール	第12クール
内科			麻酔科	救命救急	外科	地域	自由	精神自由	産婦人科	小児科	自由

1年次						2年次					
第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール	第7クール	第8クール	第9クール	第10クール	第11クール	第12クール
外科	麻酔科	救命救急	内科			産婦人科	小児科	地域	精神自由	自由	自由



お問合せ先

高知医療センター 事務局
 担当：中邑 佳代

〒780-8555
 高知県高知市池2125番地1
 TEL: 088 (837) 6760
 FAX: 088 (837) 6766

e-mail: kayo_nakamura@khsc.or.jp

URL:
http://www2.khsc.co.jp/boshu_top/index.html

第14回：医療センター職員による学会出張報告



高知医療センターの医師はいろいろな学会に参加しています。そのなかから、学会レポートをご紹介します。

第16回ドクターヘリ講習会 in 名古屋

平成20年5月10・11日

救命救急科 田中 公章



会し、ドクターヘリに関する概論から航空医学、医療基礎知識、ヘリ救急の実際、ヘリコプターの基礎知識、安全対策、運行の基礎知識など関係者が共通事項として理解する必要のある内容について講習が行われました。

昨年6月27日に救急医療用ヘリコプター特例措置法が成立し、各都道府県の医療計画の中に組み込まれ今後導入推進が予測されます。一方、当院救命救急センターでは、県消防防災航空隊の協力のもと、消防防災ヘリを利用したドクターヘリの運用を行っています。昨年度は他県ヘリを含め、当院屋上ヘリポートで194名の患者さんを受け入れ、そのうち66名が緊急手術となっています。ヘリ搬送の有用な点は単に搬送時間の短縮だけではなく、

高知県は全国一の林野率(84%)で海岸近くまで山が迫っています。海の国である一方、山国でもある高知県は急峻な地形の中を縫うように道路が走っており、車のすれ違いも困難な一般道路がよく見受けられます。このような地域の住民にとっては救急搬送の迅速な対応もままならず、日常生活に大きな不安ももたれています。災害時には分断され多くの地域が孤立する恐れがあります。

現場からの医師の初期治療開始時間の短縮”にあります。搬送中に適切な処置・治療を継続し、安全で質の高い搬送を行っています。そのような中で、救急医療用ヘリによる病院間搬送がへき地医療に関わる問題解決の一手段にもなり、へき地医療拠点病院として高知県全域に等しく高度な救急医療を提供することが可能となります。

5月10・11日、名古屋で日本航空医療学会主催・厚生労働省後援の第16回ドクターヘリ講習会に参加してきました。ドクターヘリは、医師や看護師が搭乗して現場に駆けつけ、即座に医療を開始することができます。現場に駆けつけ治療に当たる救命救急システムで、空飛ぶ救命室とも呼ばれ、救命率を高めることができると大いに期待をされています。阪神・淡路大震災時に、多くの道路が分断され医療機関も施設・設備の破壊により機能を失いました。しかし、震災当日ヘリコプターで搬送された傷病者はわずか1名のみであったことから、旧厚生省はドクターヘリの導入を決定しました。国内では平成13年度より運用が開始され、現在、全国14ヶ所で展開されています。

講習の最後に、実際にドクターヘリに搭乗して名古屋城上空を飛行し、ドクターヘリ内の機内空間・飛行感覚を体験してきました。今回の講習会を通して現時点でのドクターヘリ導入にはいろいろと問題点があり、県全体の問題として捉え、高知県民にとって最も良い救急医療体制の構築を考える必要があると考えさせられました。今後の医療行政としての対応に期待したいと思います。

しかし、ヘリコプターを救急医療に利用するには、救急車と異なり航空法の下で運用され、環境が地上とは大きく異なります。今回の講習会では、ドクターヘリ運用に関わる医師、看護師、救急救命士、救急隊員、操縦士、整備士、運行管理担当者、運行システム管理者などが一同に



(消防・防災ヘリりょうまより当院医師降下)



医療法人岡村会 岡村病院

〒780-0041 高知市入明町 1-5
 電話：088 (822) 5155 FAX：088 (822) 3188
 URL：http://www.okamura-hp.or.jp/

(診療科)

総合内科、外科、整形外科、心臓血管外科、肛門科、消化器科
 循環器科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科

後列左より吉永看護師長、西尾事務長、伊藤看護師長
 前列左より下山看護部長、岡村高雄院長、川村看護師長



医療法人岡村会岡村病院は、昭和21年12月に岡村外科(19床)として開院しました。現在の病床数は145床(一般病床)です。岡村病院の基本理念は「高度な専門技術をもって地域社会に貢献する」ことであり、来院される患者さんのことを第一に考え、機能面、構面または環境面においても、より良い治療環境を目指されています。今回は岡村高雄院長と、下山美知看護部長にお話を伺いました。

Q：まず貴院の概要、特徴についてお聞かせいただけますか？

A：病床数は一般病床145床で、看護配置は13:1となっています。院内は、患者様や来院の方がリラックスできる空間づくりとして、あたたかく優しい色調とデザインになっています。病院のイメージは、「白」を基調とした清潔感のある空間が以前は求められてきました。確かに清潔感が必要ですが、「白」は冷たい感じ、無機質な印象を与え、患者様にとって元気になり、活力を得る色彩ではないと考えています。多くのストレス、悩みを有する患者様にとって、明るくリラックスできる色彩が、治療のために必要と考えています。病院建築においてはアーティストと相談をし、米国の病院等も参考にして、色調、デザインを決めさせていただきまし、時々コンテンポラリーアーティストの個展、絵画の架け替えも行なっています。

Q：医療連携についてお聞かせいただけますか？

A：現在、医療相談室が休室のため、看護部が転入院の窓口になっています。一般病床のみという病棟の性質上、患者様の受け入れには入院日数について、ご理解をいただかなければならないケースもあります。また、入院治療で病状は安定しても、ADL(日常生活動作)の低下や介護力等の事情で在宅退院に不安をお持ちの患者様やご家族には「在宅のサービスの利用や自宅以外の多様な居住の場」を紹介し、安心して退院していただけるように努めています。

Q：リハビリテーションについて、貴院ではどのようなリハビリを行っていますか？

A：PT(理学療法士)2名、助手2名で担当しています。

施設基準は、呼吸器リハビリテーション(I)、運動器リハビリテーション(I)、脳血管疾患リハビリテーション(II)の承認を受けています。骨折、人工関節置換術、関節症等の整形外科疾患や脳血管障害、外科手術後、その他入院治療中の体力筋力低下の患者様に対しても、退院時の自立度向上のために理学療法を行っています。

Q：貴院の今後の課題や目標などをお聞かせください。

A：現在行なっている、循環器科、心臓血管外科、消化器内科、外科、肛門科、整形外科を中心とした医療を継続して展開をしたいと考えています。また、高知医療センターを始め、多くの病院・診療所と連携を密にして、患者様のために最善の医療ができるように努めたいと思っています。更には、血管検査室が近々に開設されますので、血管系の検査、インターベンション、手術等も今まで以上に積極的に行なっていきたいと考えています。

Q：高知医療センターになにかご意見等はございますか？

A：そうですね。難しい課題だと思いますが、高知医療センターの医師に患者様をお願いする場合、医師の異動や退職などがあり、どの医師に紹介していいのか迷うときがあります。公表してよい範囲で事前に情報をいただければと思います。転院の際のサマリーなどはきちんと書いていただいているようです。



お忙しいなか取材にご協力いただきありがとうございました。

高知医療センター イベント情報

日	曜	6月～
6/12	木	6月研修医セミナー 内容：「急を要する皮膚疾患の対応の仕方」 講師：高知医療センター皮膚科 高野浩章 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：17：30～ お問い合わせ：高知医療センター 呼吸器・アレルギー科 土居裕幸
13	金	恒例・図書まつり （医学、看護、その他医療関係の図書を展示・即売） 場所：高知医療センター2階 なるほどライブラリ 時間：11：00～18：00 お問い合わせ：高知医療センター なるほどライブラリ 橋田圭介 ※7月11日（金）にも行われます。
14	土	第26回日本臨床外科学会 高知県支部会 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：15：30～ お問い合わせ：高知医療センター ※講演内容等の詳細は決まり次第ご連絡いたします。
20	金	平成20年度高知県周産期症例検討会 テーマ：「高齢妊娠における諸問題」（6題） 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：18：30～（2時間程度） お問い合わせ：高知医療センター 産科 森岡信之 協賛：日本産婦人科学会高知地方部会、高知県産婦人科医会
22	日	栄養士研修会：栄養アセスメントーメタボリックシンドローム管理の実際ー 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：13：00～ 講師：武庫川女子大学 食物栄養科教授 雨海照祥先生 共催：ネスレニュートリション 参加費：1,000円（会員） 3,000円（会員外） 申し込み：6月16日（月）までに栄養士事務局まで お問い合わせ：栄養士事務局 電話／FAX：088（872）9411 ※この研修会は生涯学習振り替え認定の1単位となります。日本糖尿病療養指導認定更新（第1群）の1単位となります。
23	月	第30回高知医療センター救命救急センター救急症例検討会 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：17：30～ お問い合わせ：高知医療センター 救命救急センター
7/3	木	第4回高知医療センター地域医療（内科系）症例報告会 ※日・時が変更されました。 場所：高知医療センター1階 研修室 時間：19：00～21：00 お問い合わせ：高知医療センター 代謝・内分泌科・副院長 深田順一
8	火	第7回高知医療センター外科グループ手術症例検討会 内容：「症例発表5～6題」（予定） 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：19：00～21：00 お問い合わせ：高知医療センター地域医療連携室／消化器外科・地域医療センター長 西岡豊
19	土	高知内視鏡外科フォーラム 内容：「一般演題数題と特別講演」（予定）※詳細は決まり次第ご連絡いたします 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：14：00～16：00 お問い合わせ：高知医療センター 消化器外科・地域医療センター長 西岡豊

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。背景に色がついている講座は是非、地域の医療機関の皆さまにご参加いただきたいものとなっております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

お知らせ：造影CT・MRI検査をお受けする際の患者さんへの検査説明書、問診票及び検査同意書の運用方法が更新されています。ご注意ください。

編集後記

20数年臨床現場一筋で過ごした私にとって、この天気だと職業柄、季節と病気の関連を考えてしまいます。この気温だと喘息やめまいの患者さん達は大丈夫かしらとついそんな事ばかり考えていた私が、この4月から、患者さんに直接関わる業務から間接的に関わる地域医療連携室への異動となりました。季節という自然な現象を含め、本当に様々な環境が、患者さんを取り巻いているのだと改めて感じている今日この頃です。また初めて関わる職種の方もいて、好奇心旺盛な私としては、ある意味楽しい職場です。今後は前方連携、後方連携を含め高知医療センターの機能や役割を十二分に活用していければいいなと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

（地域医療連携室 看護科長 田尻）



広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見等をお寄せください。renkei@khsc.or.jp
Kochi Health Sciences Center Home Page :http://www2.khsc.or.jp/